

「副田小学校の鍋蓋踊り伝承活動の取組」

1 学校名

薩摩川内市立副田小学校

2 学年・人数

小学4・5・6学年（計38人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和5年9月～10月 運動会練習（体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和5年10月1日（日）副田小学校秋季大運動会（本校校庭）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

鍋蓋踊り（なべぶたおどり）

(2) 由来

古い時代の豊作予祝祭の呪儀が風流芸能化したものとされている。（入来町誌より）

(3) 構成等

歌と三味線、太鼓の伴奏で、両手にそれぞれ持った小型の鍋蓋を打ち合わせて踊る。打ち合わせるところは、前・後・頭上・足元など変化があつて、カチャッ・カチャッと鳴る拍節と三味線歌とがよくマッチした、軽快な踊りである。

5 保存会や地域との連携の具体

鍋蓋踊りを継承されている本校区の方が学校応援団に登録してくださっており、学校での指導をお願いしている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

運動会上学年（4～6年）の表現発表として、地域の方に指導をお願いし、枕踊りと鍋蓋踊りを1年交代で練習し、学校・校区合同運動会での発表を行っている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【学校応援団の方による指導】



【秋季大運動会での発表】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

- ・ 最初はむずかしくて、リズムに合わせて踊ることができなかったけれど、地域の方に教えていただき、踊りを覚えることができました。
- ・ 最初はばらばらだった鍋蓋を合わせる音が、だんだんそろっていきました。みんなの音がそろったとき、とてもうれしかったです。
- ・ 運動会当日、覚えた踊りを楽しく踊ることができました。

【職員】

- ・ 地域の方が丁寧に指導していただき、とてもありがたかったです。職員も一緒に踊りを覚え、子どもたちへの指導を行うことができました。子どもたちは踊りを覚えて、運動会で元気に発表してくれました。

【保存会から】

- ・ 今では、踊ることが少なくなりましたが、小学校の運動会の中で子どもたちが練習し覚えて一緒に踊れることがうれしいです。これからも、踊りを継承して行ってほしいと思います。

【保護者・地域の方から】

- ・ 地域の踊りを子どもたちが踊ってくれて、とてもうれしく思います。
- ・ どんどん次の子どもたちに引き継ぎ、伝承してほしいです。